

三重県のNPOを応援する情報誌 **リーダ-**

READER

2015

7

2015年6月25日発行
通巻199号

共に助け合う





若者と自治会の関係性

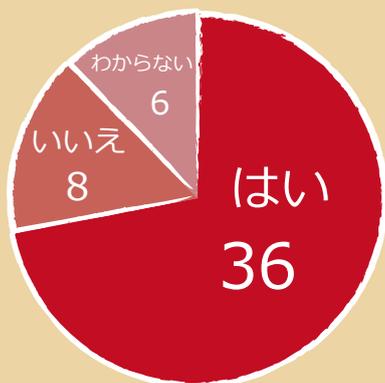
自治会って何をやっているの？若い人って関わってるの？今から始める自治会活動

東日本大震災において、自治会をはじめとする地域コミュニティが強く形成されていた地域ほど被害が少なく、復興も早く進んでいると言われています。また一昔前では各家庭での個別の問題とされてきた子育てやひきこもりなども、近年では地域全体で支えていく取り組みが全国のいたるところで見られます。自治会は煩わしいといった意見もありますが、その存在の重要性は、未来を見据えれば見据える程大きいのではないのでしょうか。ところがどっこい、そんな未来を担う世代の自治会への参加がとてども少ないらしい！確かに、記者である私の家も回覧版を回すくらいで他は何もしていない…。子どもたちや自分の未来を考え、今から動いても遅くはないはず…！

というわけで、緊急調査！自治会って何？何をしているの？若い人は自治会アレルギーがあるって本当？自治会が持つ地域を支える力を少し知ってみて、可能な範囲で参加をしてみるというのはどうだろうか。

【緊急調査】20代～40代の男女50人に自治会に対するアンケートを実施しました

自治会費を払って自治会に入っていますか？
(世帯に入っているものを含む)



自治会の活動に参加していますか？
また参加したことがありますか？



自治会の活動内容について知っていますか？



なんとまあ、自治会に加入しているのに半分以上が自治会活動に参加をしたことがないという結果に…！

理由としては、「仕事で忙しい」「年配者が集まっていて比較的若い人には近寄りたがたい雰囲気がある」「色々と面倒くさそう」という意見がありました。

一方で、自治会に対するイメージについては「町をよりよくするための組織」「住民の方に安心して地域で暮らして頂く役割を担っている」「地元のおまわりさんのような存在」と好意的なものが多く、参加はしていない（できない）けれど必要性を感じているといった傾向がみられます。

若者自治会長に聞く！



内田 裕之さん (34) (亀山市みずきが丘自治会 自治会長)

縁があって自治会長になりました。きっかけは「人」ですね。新興住宅地であるみずきが丘でまったく知らない人とも仲間をつくり活動していきたいという思いがありました。自治会長になって4年目になりますが、同じ思いをもった仲間が増えて、地域のための活動ができるようになり楽しいです。責任のある役職ですが、良い苦勞をしますね。他の自治会の年配の方と会う機会もあり勉強になります。僕の考えですけど、年をとってから地域に貢献することは誰でもできるんじゃないかなと思います。地域の未来について考えなくても生活はできますよね。ただ若い

うちから繋がりをつくってその仲間と地域の未来を考えていくことができれば楽しくなってくると思います。関わることは大変ですけど、関わってからじゃないと分からないことがいっぱいあります。たまたまこの自治会が若いというものもあるかもしれないけど、他の地域でも青壮年部が盛り上げようとしている地域もありますよね。地域と関わったことがない人は関わってみて、地域との関わり方を考えたらいんじゃないかなと思います。最初の一步を踏みこむのは難しいと思いますが、一度自治会活動に参加してほしいなと思います。

自治会って何をしているの？ ～自治会の活動の「なほほ！」を探せ！～

なほほ！ 災害時に備えた防災訓練

いつやってくるかわからない自然災害に備えて、防災訓練を実施。災害発生直後の救出救護、初期消火、避難誘導や避難所の開設、炊き出しの訓練まで行っている。日頃の訓練で住民同士のつながりも深まっていくそうなので、チャンスがあればぜひ参加したい！



なほほ！ 防犯や交通安全のための活動

まちの安全のため青色回転パトロール車による巡回や小学校下校時の見守り活動を行っている。またカーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の点検や危険箇所のチェック、道路の見通しを良くするための草刈りなどを行い、まちの改善につとめている！



なほほ！ 地域の美化活動や催事

道路、海、川の清掃活動や空き地の草刈り、缶拾いなど環境美化活動を行っている。またゴミ集積所のパトロール・清掃、不法投棄監視のパトロールを実施。地域のお祭りなどの催事も開催。きれいで住みやすいまちの裏には自治会の活動があった！



自治会担当の行政の方から一言

自治会は、自分たちの住むまちをより良くしていこう！とその地域に住む人々が協力しあいながら地域の課題に取り組み、住みよいまちづくりのため活動を行う団体です。

東日本大震災を機に地域コミュニティの重要性が見直されています。震災時には、地域連携がとれている地域は復興が早かったそうです。近い将来危惧されている南海トラフ大地震が発生すれば近隣同士が助け合うということが重要になることは言うまでもありません。災害時、行政だけの力（公助）では限界があります。近隣同士、日頃から顔の見える関係を築き備えること（共助）が大切です。そのためにも自治会の活動に参加し、地域とつながりをつくっておくことは自分たちの生活の安心・安全につながるのではないのでしょうか。

今まで、なんとなくしか知らなかった自治会だけど、自治会活動に参加することは、自分たちの住んでいる地域やまちを豊かにする方法の1つなんだなあと感じました。災害などの非常時のために、日頃から顔が見える関係性をつくることは大事ですね。それだけでなく、日常的なまちの美化や交通安全活動、地域全体での子育てやお祭りなどの催事も、自治会に入ること、今よりもっと良くなる可能性がありますね。自治会への入会は市町行政の担当窓口でできるとのことなので、気になった方はぜひ！



若者自治会長に聞く！

織田 拓さん (30) (奥立川自治会 自治会長)



前自治会長の任期が終わり、次の自治会長になってもらえる人が見つからなかったようなので、自治会長の役を引き受けました。自治会に加わるようになったことで、他人の強みを探すようになりました。村の中のネットワークが急激に広がり、誰が何処で何を仕事にしているのかよく分かるようになりました。それに伴い、ある事案が持ち上がった時や、何か協力が必要になった時、わからない事を教えてもらいたい時など、その事例ごとに誰に話を持っていけばベストなのかがわかり、行事の遂行や問題解決のスピードと効率が非常に上がりました。その人その人の強みや得意分野、職業などを把握することで、自分一人では不可能な事でも可能にできる人脈を構築するために、自治会外でも常に自分の周りにいる人の強みや得意な事を意識して探すようになりました。正直、自治会長という仕事は楽ではありません。しかし、もし何か成し遂げたい目標があるのなら自治会というネットワークは非常に強い味方になってくれます。この仕事をこなす事で非常に大きな人脈を作る事ができ、自分が持つ可能性の幅がとても広がります。自治会に入る前は起業しようかどうか、かなり迷っていましたが、今はその人脈のお陰で完全に決断する事ができました。



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【地域安全】。自治会活動や地域安全のため活動を行う団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

和みの会

情報提供：みえきた市民活動センター

いなべ市藤原町上相場



交流会の様子です

高齢者の方たちに、月2回の給食づくりと安否確認もかねた配食のサービスからまりました。ボランティア4人からの活動でしたが、少しずつ関わってくださる方が増えました。社協のふれあい事業や自治会からの助成金をいただきながら、いなべ市米野、30数戸の小さな集落で、年に4回、お年寄りを招待して、交流会をひらいています。手作りの出し物、指あそび、紙芝居、大型絵本の読みきかせ、ボランティア総出演によるスコープ三味線「きよしのズンドコ節」の演奏をしたり、外部の方にも出演していただいたりもしています。いつも参加されている方が、他の方をお誘いくださることが増えました、誘い合い、お声かけは心強く感じ、感謝の気持ちが一杯です。高齢の方は家の中で引きこもりになりがちです。心身ともに健康のために、できるだけ外に出て、皆さんと話をされる事が大切だと思います。私たちは少しでもその機会をつくろうと思ひ活動しています。

いなべ市の社協さんや市民活動センターにお問い合わせください。

「みんなが主役！」の和みの会です。どの会の時も、笑いあふれ、参加者同士の交流がたっぷりできて、「楽しかった〜!!」と言ってもらえるのが、私たちの次の活動へのエネルギーとなっています。

四日市市自治会連合会

情報提供：四日市市なやプラザ

四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館1階 ☎ 059-354-8287



ロングビーチ市研修風景

【コミュニティリーダーの育成について】四日市市自治会連合会は、715の町自治会があり、市内の約12万世帯のうち、10万世帯が自治会に加入しています。加入率は、85.2%で、この加入率は、全国的にみても高く、市民の声として充分反映することができています。近年、日本人の価値観を変えるほどの大きな自然災害が多発しており、そのたびに、「地域の絆」の大切さが重要視されています。そんな中、日々の生活の中で最も身近なコミュニティである自治会も見直されてきています。これからの課題として、自治会長の高齢化や成り手不足があり、若い世代の地域リーダーの発掘、育成を図り、地域活動を活性化していきたいと考えています。昨年は、四日市市の姉妹都市である米国カリフォルニア州ロングビーチ市が行っている地域づくりに向けた人材育成に関する取り組み（コミュニティ・リーダーシッププログラム）が全米で高く評価されていることを知り、会の代表者が、ロングビーチ市を訪問し、地域づくりリーダーとしての資質の向上、意欲や意識の高め方や住民参加を促す企画、運営手法等のプログラムを研修してきました。今年度は、市が実施している人材育成講座（マイスター養成講座）等に、学んできたプログラムを組み入れて、担い手の発掘・育成に反映し、また各地区で、研修会を開催する予定をしております。

地域性や経験だけで、自治会長をしているのでは難しい時代になってきているので、多くの方々の声に耳を傾け、地域が何を必要としているのかを、敏感にキャッチできる地域のリーダーを育成し、自治会活動に役立てたいと思っています。

松阪市第四地区住民協議会

情報提供：松阪市市民活動センター

松阪市石津町 21 (第四公民館内) ☎ 0598-52-1854



子育て支援「ひよっこひろば」は、地域のママたちが中心となり、定期的に開催している。

松阪市の住民協議会は、地方自治を推進するために概ね小学校区ごとに設立された自治組織です。第四地区住民協議会では「地域の子どもは地域で育てよう！」というスローガンのもと、地域全体で子どもの成長を支える取り組みに力を入れています。例えば、学習支援活動として、月 2 回地元のボランティアが小学校へ出向いて算数の基礎を教えたり、住民と子どもの交流事業として、地域に住む外国人家族に自国の料理を教えてもらいながら一緒に作ることで交流を深めたり、有志の住民が第四小学校の下校を見守る活動を行うなど、幅広い取り組みを行っています。子どもを中心に日頃の声かけや見守り活動に力を入れ始めたことで、住民全体が活気づき、地域の絆や繋がりが深まりつつあるそうです。

昨年から未就園児と保護者を対象にした子育て支援のサロンも始めました。地域の大人と関わり合いながら育つことで、将来、子どもたちが地元を離れることがあっても「また帰ってきたくなる第四地区」の土壌が育まれていくと考えています。

紀宝町津本自主防災会

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

三重県南牟婁郡紀宝町大里 221 番地 ☎ 090-5891-5507 ✉ o.yasuko@zb.ztv.ne.jp



担当者への連絡、関連企画への参加

2011年9月の台風被害を受け、苦労したこと、うまくいかなかったことの経験を生かすべく、2012年4月に「津本自主防災会」が立ち上げられました。構成員は、同地域に住む139世帯321人。拠点である「津本防災センター」を中心に活動しており、外部講師を招いた防災ワークショップや応急救命講習の場を設けたり、参加できないメンバーに共有するために毎回細かに記録したりと、地域が一丸となって地域防災に取り組むことを目指し、意欲的に活動しています。また、緊急時に点検・管理の不備がないよう、同センターを常時から多目的スペースとして活用しており、日常のちょっとした変化にも気付けるように備えています。一度自分たちが被災をしていること、そして同地域に小学生を含む子どもが多く住んでいることから、災害に対する危機意識が非常に高く、積極的に学び、行動する姿勢が高く評価されている団体です。今後は地元の学校と連携した防災訓練なども予定しています。

担当者への連絡、関連企画への参加で、ご参画いただけます

結成から3年経ち、地元の小中学校と共同開催での防災訓練の実施が決まり、目標がようやく定まりました。メンバー間の団結が今後更に深まる雰囲気が出てきたので、住民一丸となりしっかり取り組んでいきます。

募集のご案内

ビデオ上映会

すべての原発を廃炉に！ 川内原発の再稼働を許すな！

◆「小出裕章さんに聴く～被曝と避難～」(42分)

「ふくしま集団疎開裁判の会・特別企画」として、2015年4月25日社団法人日本外国特派員協会にて収録されたビデオです。小出さんは、元京都大学原子炉実験所助教。

◆「最終処分場」はどこへ 行き場のない「核のゴミ」(44分)

3月11日、古舘伊知郎氏がキャスターを務める「報道ステーション」(テレビ朝日)で放送されました。極めて高い放射線を出し続ける2種類の「核のゴミ」、使用済み核燃料と最後に残った廃液。この処理について、世界中でどこも抜本的な解決策を見出していない。

日時 2015年7月12日(日) 13:30～16:00

場所 みえ県民交流センター・交流スペース7・8(アスト津3階/津駅東口隣接ビル)

問合せ先 とめよう戦争への道!百万人署名運動・三重連絡会
三重県鈴鹿市稲生4-6
加藤正昭気付 TEL:090-2617-0721

第11回 みえ母乳の会 母乳育児フォーラム

講演:スマホ時代の母乳育児 ～周産期からのメディアリテラシー～
講師:佐藤和夫先生【国立病院機構九州医療センター 小児科医長/周産期センター長】

佐藤先生は、メディアの子どもへの影響、スマホ時代の母乳育児と子育ての現状について、わかりやすく楽しいお話をさせていただきます。スマホを使いこなす若いお母さんも、苦手と思っているベテランの医療関係者の方々も、ぜひたくさんご参加ください。

日時 2015年7月19日(日) 14:00～16:00

場所 生涯学習センター(三重県総合文化センター内) 視聴覚室

参加費 1,000円(みえ母乳の会会員は無料)

問合せ先 みえ母乳の会事務局 TEL & FAX:059-233-0166

※お子さま連れのご参加は可能ですが、託児はございません。

平成27年度

伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦

伊勢湾流域圏では、地域住民、NPO、企業、市町等の参加により、森林、河川、海岸、地域等で、日々さまざまな清掃活動が行われていますが、伊勢湾の再生をはかるためには、それぞれの活動が、森から川、海へのつながりを意識し、互いに連携した活動となることが重要です。このため、三重県では平成20年度より伊勢湾再生に向けた広域的な連携を目的として「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を愛知県、岐阜県、名古屋市と連携し、実施しています。

4月から既に県内各地でさまざまな取り組みが始まっていますが、7月も四日市市、伊勢市、御浜町、鳥羽市、桑名

市などで一般参加可能な取り組みが予定されております。詳しくは、下記ホームページにあるそれぞれの主催団体へ直接お問い合わせください。

「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」のホームページは、

HP <http://www.eco.pref.mie.lg.jp/isewan/>

育キャリ パパに贈る新しい働き方

自分ひとりだけでなく、子どもやパートナーと一緒に成長していけるキャリアのあり方。

仕事か?家庭か?ではなく、どちらも充実させる働き方をしよう!という「育キャリ」を実現していくには、どうすればよいかを考える講座です。

日時 2015年7月25日(土) 13:30～16:30

講師 塚越 学さん(株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部 シニアコンサルタント

場所 三重県文化会館 大会議室

対象 子育て中の男性、子育て予定の男性

定員 30名

受講料 無料(事前申込制、先着順)

電話・郵送・FAX・E-mail・ホームページ・窓口で受付
託児:要事前申込 0歳～小学3年生(1,000円/1人)
<託児申込締切 7月11日(土)>

申込・問合せ先 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
(〒514-0061 津市一身田上津部田1234)
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135

HP frente@center-mie.or.jp

HP <http://www.center-mie.or.jp/frente/>

第10回 企業&NPO 協働アイデアコンテスト

NPOによる、企業とNPOの「協働アイデア」募集!

「地域」のために

「社会」のために

「未来」のために・・・。

まずは、エントリーを(詳細はホームページ参照)

対象 中部広域9県に所在するNPO団体(法人格の有無不問)

エントリー 2015年6月1日(月)～7月31日(金)

アイデア募集 2015年8月1日(土)～9月15日(火)

最終選考会(公開) 2015年11月19日(木) 14:30～

場所 名古屋商工会議所 2階 ホール

最優秀賞 20万円、優秀賞 10万円、特別賞 5万円、奨励賞 3万円

ご応募・問合せ先 〒464-0067 名古屋市千種区池下1-11-21
サンコート池下2F
NPO法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
TEL:052-762-0401

HP info@psc.or.jp

HP <http://www.psc.or.jp>

アスト消防訓練に参加しました！



6月に開催された「アスト津消防訓練」に参加しました。アストビルに入居するさまざまな団体から数名ずつ参加し、非常事態に備えて消火器や室内にある消火ホースの使用方法について学び実際に体験しました。消火ホースからの放水は水圧が強く大変威力があり、女性1人では少し危険なほどでした。しっかりと腰を据えて狙いを定め放水する必要性がありました。

火災など非常事態に冷静に対処するためには、日ごろの訓練できちんと意識しておくことが大切だと感じました。ただ、1番大切なことは火災を未然に防ぐこと！火災が発生しないよう気をつけていきたいと思います。

ネパール大地震募金 お礼とご報告

5月1日～5月31日まで、弊センターにて4月25日に起きたネパール地震の募金箱を設置し、皆さまから温かいご支援をいただきました。皆さまからお寄せいただいた寄付金 12,500円は、全額現地で救援活動を行う「特定非営利活動法人 ADRA Japan」へ寄付させていただきました。皆さまの温かいご支援、ご協力に心より御礼申し上げます。

SAVE JAPAN プロジェクト



SAVE JAPAN プロジェクトとは、47都道府県のNPOと地域の方々、損害保険ジャパン日本興亜と一緒に、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。三重県では下記日程で環境について学び、体験できるイベントが開催されます！

「親子で学ぼう！みえの希少生物と自然環境」

- 日時** 2015年7月25日(土)
13:30～14:30 (13:00) 受付
- 場所** 三重県総合博物館 MieMu レクチャールーム
- 参加費** 無料 **定員** 60名
- 内容** 三重県に棲息する「淡水魚」に焦点をあて、絶滅危惧種である「カワバタモロコ」の生態に迫ります。三重の希少生物について楽しく学びましょう！

「カワバタモロコに会いに

里山のトンボ池に行こう！」

- 日時** 2015年8月9日(日)
9:00～12:30
(名張市外の方々:8時30分頃 近鉄赤目口駅集合)
- 場所** 三重県名張市赤目町一の井 一の井公園
- 参加費** 無料
- 内容** カワバタモロコの棲む「トンボ池」周辺の環境整備や、池の水棲生物の観察、カワバタモロコについての学習会などを実施します。

お申し込み・お問い合わせ

◎みえ市民活動ボランティアセンター

連絡先 TEL 059-222-5995 / FAX 059-222-5971

Mail center@mienpo.net

お申し込み…メール、お電話にて①参加されたいイベント名②お名前③ご連絡先をお伝えください。

みえぎんNPOローン 特許取得中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

名古屋 NGO センター 2015 年度「ステファニ・レナト賞」候補者 募集

- ① 7月28日(火) 必着 ② 弱者の側に立ち、人間としての尊厳を守るための活動をしている個人や団体
- ③ 表彰盾・副賞 30万円

ユニバーサル財団 「東日本大震災支援プログラム」“傾聴ボランティア”を応援します

- ① 7月31日(金) 17:00 必着
- ② 被災地の方々、または被災地から県外に避難されている方々を対象に、“傾聴ボランティア”活動をしている団体
- ③ 1団体の上限 50万円/年(最長3年間)

大成建設自然・歴史環境基金 2015 年度助成金募集

- ① 7月31日(金) 必着 ② 自然・歴史環境の保全活用のために、活動や研究を行う非営利団体等
- ③ 総額 1,500万円程度、助成件数 30件程度

Panasonic NPO サポートファンド【環境分野】 ※【子ども分野】も同時募集中

- ① 7月16日(木)～7月31日(金) 必着 ② 環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指す NPO / NGO
- ③ 1団体の上限 200万円

中部の未来創造大賞推進協議会 「第16回 中部の未来創造大賞」募集

- ① 7月31日(金) 必着 ② 地域づくり、防災、伝統的な建造物の保存・復興などの活動(長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県内に限る)
- ③ 賞状・賞金 5～10万円(4件程度)

日野自動車グリーンファンド 平成 27 年度助成事業 募集

- ① 7月31日(金) 当日消印有効 ② 自然環境保全に資する活動に取り組む団体・グループ・個人
- ③ 総額 750万円程度

NHK厚生文化事業団 第50回「NHK障害福祉賞」体験記録を募集

- ① 7月31日(金) 当日消印有効 ② 障害のあるご本人、または障害のある人とともに歩んでいる方
- ③ 表彰賞金 5～50万円(5件程度)

三重県遊技業協同組合 第13回 MP ドリーム助成先募集

- ① 8月20日(木) 17:00 必着 ② 三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ
- ③ 1グループ上限 20万円

スタッフルーム

またまたニュースをリニューアルしました。何回すんねんって話ですが、多分これで落ち着くと思います。リニューアルした点は、表紙と特集ページ!表紙は今までとガラッと変え、写真と内容を表す標語のみにしました。シンプルで分かりやすいかな?と思うのですがいかがでしょうか。特集ページは、今まで文字ばかりで読みにくかったのでイラスト等を増やし、内容もやわらかくしてみました。これをきっかけに、たくさんの方に手に取ってもらえると嬉しいです。これからも読みごたえのある冊子を目指し、ニュースを作っていくしたいと思います。(中瀬)



特定非営利活動法人

(2015年5月10日～2015年6月9日認証分)

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野
④認証年月日⑤代表者

- ①NPO法人 ぼっかばかの会
- ②亀山市みどり町 17番地 49
- ③保健、社会教育、まちづくり、人権、子ども、職業能力、その他、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2015年6月8日
- ⑤理事長 濱野 芳美

- ①特定非営利活動法人 ジャパン・コントロール・ハンティング
- ②名張市蔵持町芝出 21番地 3
- ③農山漁村・中山間地域、環境
- ④ 2015年6月8日
- ⑤理事長 奥田 幸一

- ①NPO法人 鳥羽市くらし応援プロジェクト
- ②鳥羽市群蛸町 127番地 42
- ③まちづくり、観光の振興、環境、地域安全、子ども、経済活動
- ④ 2015年6月8日
- ⑤理事長 瀬崎 憲寿

- ①特定非営利活動法人 おりがみ
- ②四日市市川島町字佃 6659番地
- ③保健、社会教育、まちづくり、男女
- ④ 2015年6月8日
- ⑤理事長 内藤 純子



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

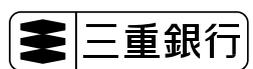
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。